

全国青パトフォーラム2017 in 東北

【実施報告書】

2017年10月

日本財団 公益事業部 国内事業審査チーム



はじめに

2004年12月の道路運送車両法の規制緩和により、警察からの許可を受けた防犯団体は、青色回転灯を点灯させて防犯パトロールを行うことが可能となりました。現在、全国で登録されている青色回転灯装備車(通称:青パト)は個人車両も含めて約44,000台となっています。(2015年12月31日現在 警察庁生活安全局生活安全企画課)

日本財団では、青パトによる防犯活動を地域づくりの一環と位置づけて、活動団体に対してハードとソフトの2面から支援してきています。

ハード事業としては、青パト車両の整備助成を行っており、当財団では、2008年から2017年4月現在までに白黒に塗り分けた防犯活動の専用車を、全国に237台配備してきました。

また、青パト団体の活動の活性化を目指すためのソフト事業として、全国の防犯団体や関係機関の皆様を対象に年1回、青パトフォーラムを開催しています。これまで東京で3回、福岡、大阪で各1回、より有効な活動を行えるような情報提供や課題解決のための議論の場、さらには各関係者同士の交流の場を提供してまいりました。今年度は、これまで当財団の助成実績が1台となっている東北6県への働きかけを中心とすべく、宮城県仙台市での開催といたしました。

ソフト事業である青パトフォーラムでは、防犯活動において効果的手法であるホットスポット・パトロールを全国に展開してきています。ホットスポットとは、入りやすく見えにくい場所のことで、犯罪が特に起こりやすい危険な箇所のことを指します。フォーラムの今年のテーマは「青パト活動の盲点と極意」とし、これまでの活動を振り返り、場所に着目した防犯活動、すなわち犯罪機会論を理解し、防犯意識だけでなく防犯知識を身につけ、防犯活動を実施できることを目指しました。

フォーラム当日の午前中は、立正大学の小宮信夫教授を講師に実際に戸外に出て人数限定でのフィールドワークを実施しました。ビルの非常階段や集合駐車場等どこにでもある場所が、仕様によってはホットスポットとなってしまうことなどを学びました。午後からは、小宮教授の基調講演「防犯意識から防犯知識へ：真に効果的な防犯対策とは」、フィールドワーク参加者による報告、少人数に分かれての参加型グループワーク研修を含むワークショップ「犯罪機会論とホットスポット・パトロール」などを実施し、活発な意見交換等がなされました。また東北の2団体が全国の防犯活動団体に共通する課題である人材と財源の確保に関する好事例を発表し、今後の活動に有益な情報提供となりました。

地域力がますます必要とされる超高齢化社会を迎える我が国にとって、青パト活動は地域を結びつける有効なツールであると考えられることから、日本財団はこれからも青パト活動に関する事業を支援し、安心・安全なまちづくりをお手伝いしていきます。

実施概要

1. 名 称：全国青パトフォーラム 2017 in 東北
2. テー マ：「青パト活動の盲点と極意」
3. 日 時：2017年9月16日（土）13：30～17：00
4. 会 場：仙台市中小企業活性化センター
5. 主 催：日本財団
6. 後 援：警察庁、宮城県、宮城県警察
7. 参加者数：139名（61団体、来賓他）
8. プログラム

～特別企画～

10：30 フィールドワーク 「ホットスポットパトロールとは？」

講師 小宮 信夫（立正大学文学部教授）

13：30 開会宣言

主催者挨拶 吉倉 和宏（日本財団 常務理事）

来賓挨拶 細川 真宏（警察庁生活安全局生活安全企画課都市防犯対策官）

来賓紹介 小島 晋（宮城県環境生活部 副参事）

佐藤 淳（宮城県警察本部生活安全部生活安全企画課管理官）

13：40 基調講演「防犯意識から防犯知識へ：真に効果的な防犯対策とは」

講師 小宮 信夫（立正大学文学部教授）

14：30 フィールドワーク報告

富士宮防犯協会 堀水 利恵

富士防犯協会 高橋 和華

15：00 事例発表

東地区連絡協議会 谷 清道、秋元 清隆、久塚 孝

盛南地域安全協会 宮野 勇夫、藤村 幸雄

15：30 ワークショップ「犯罪機会論とホットスポット・パトロール」

講演

グループワーク

16：30 青パト事業説明

17：00 閉会

17：30 懇親会

参加者リスト

参加者集計

地域集計別

カテゴリー	所在地	団体数	人数
		参加	参加
防犯団体	青森県	2	7
	岩手県	4	12
	宮城県	20	50
	山形県	1	1
	福島県	1	2
	東北以外	22	33
警察関係		9	15
行政関係		2	6
来賓・講師・他			13
合計		61	139

団体別集計

警察関係	
青森県	青森県警察本部 生活安全部生活安全企画課
岩手県	岩手県警察本部 生活安全企画課
宮城県	宮城県警察本部 生活安全部生活安全企画課
宮城県	宮城県仙台南警察署
宮城県	宮城県仙台中央署
埼玉県	埼玉県警察本部
静岡県	静岡県警察本部 生活安全部生活安全企画課
京都府	京都府木津警察署
岐阜県	岐阜県警察本部
行政関係	
宮城県	宮城県 環境生活部共同参画社会推進課
宮城県	多賀城市 総務部交通防災課
来賓・講師	
全国	警察庁 生活安全局 生活安全企画課 都市防犯対策官
全国	警察庁 生活安全局 生活安全企画課 警部
宮城県	宮城県環境生活部副参事兼共同参画社会推進課課長補佐
宮城県	宮城県警察本部生活安全部生活安全企画課管理官
	立正大学文学部社会学科教授

参加者リスト

参加者集計

団体別集計

団体所在地	団体名
東北地方	
青森県	三戸町防犯協会
青森県	東地区連絡協議会
岩手県	室根地域防犯協会
岩手県	藤沢地域防犯隊・交通指導隊
岩手県	境田町防犯パトロール隊
岩手県	盛南地域安全協会
福島県	(株) トーネット
宮城県	仙台中央地区防犯協会連合会
宮城県	高橋東一区防犯協会
宮城県	多賀城市旭ヶ岡交通防犯協会
宮城県	登米地区防犯協会連合会
宮城県	(公社) 宮城県防犯協会連合会
宮城県	川平地区防犯協会
宮城県	仙台市高砂防犯協会
宮城県	仙台市防犯協会連合会
宮城県	双葉ヶ丘地区防犯協会
宮城県	愛島地区防犯協会
宮城県	宮町地区防犯協会
宮城県	愛子地区防犯協会
宮城県	青葉台町内会
宮城県	青山町内会
宮城県	花園町内会
宮城県	皆の丘町内会
宮城県	宮城県登米市迫地区防犯指導隊
宮城県	六郷地区防犯協会防犯パトロール隊
宮城県	東北舗道建設防犯パトロール隊
宮城県	(株) ミヤツ
山形県	やましん地域安全ネットワーク山形みまわりさん

参加者集計

団体別集計

東北地方以外	
北海道	(福) えぼっく
富山県	加積地区防犯組合
富山県	安全企画センター
栃木県	佐野市防犯協会
栃木県	岡本交番防犯連絡会
茨城県	おおつ野青色防犯パトロール隊
埼玉県	別府1丁目5丁目防犯会
東京都	桜台一丁目町会
千葉県	根郷小学校区まちづくり協議会
千葉県	ユース・サポート・センター・友懇塾
神奈川県	片倉町大丸町内会
神奈川県	神奈川区福祉施設等防犯連絡協議会
静岡県	富士防犯協会
静岡県	富士宮防犯協会
長野県	(特) ほこほコネク
愛知県	愛知県稲沢市下津防犯パトロール隊
滋賀県	真野北学区自主防犯推進協議会
大阪府	石切東防犯委員会
大阪府	東大阪市自治協議会青色防犯パトロール隊
兵庫県	多田東コミュニティ協議会
全国	(公財) 全国防犯協会連合会
その他	個人1名

「ホットスポット・パトロールとは？」

小宮 信夫(立正大学文学部 教授)



午前中は少人数でのフィールドワーク：立正大学小宮教授のご指導で仙台駅周辺を歩いてまわり、ホットスポット（危険な場所）について学びました。



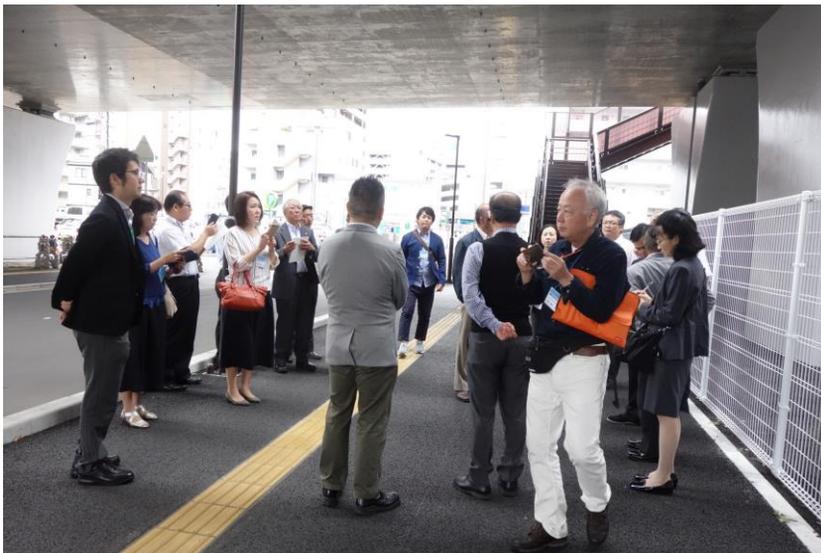
公園に設置されているトイレです。男性用と女性用の入り口を別に設置しているのは、より安全を確保しやすいトイレといえます。

「ホットスポット・パトロールとは？」

小宮 信夫(立正大学文学部 教授)



マンションなどの非常階段の例です。
左のものは見通せるタイプのフェンスを利用した仕様、右のものは完全に視界がさえぎられる仕様となっています。
入りやすく見えにくいという観点から仕様を考えることも大切です。



高架下の危険性、フェンスを設置することは入りにくくするための一つの工夫であることなど、説明を受けました。

主催者挨拶

日本財団吉倉和宏常務理事

日本財団は、青パト車両助成事業と青パトフォーラム事業の2本立てで安心・安全なまちづくりを支援しています。
みんながみんなを支える社会を作っていく手法の一つとして全国でフォーラムを展開してきていますが、今回は特に東北地方に重点を置き、活動の活性化を目指してきました。仙台を初めとして東北6県に青パト活動を広げていくことで、地域がつながり、より住みよい社会を作っていくよう努力していきます。



「日本の防犯常識のウソ：真に効果的な防犯対策とは」

小宮 信夫(立正大学文学部 教授)

基調講演では、犯罪学における「犯罪原因論」と「犯罪機会論」を中心に、これまで多くの場所で開催されてきた防犯活動における誤解と、効果的な方法についてご講演頂きました。



午前中の成果を発表

富士宮防犯協会：堀水利恵様
富士防犯協会：高橋和華様

午前中のフィールドワークには12名が参加されました。
参加者がフィールドワークで気づいたこと、学んだことについてまとめたものを、代表して2名の方が発表されました。



青色パトロール活動団体による活動事例の発表

東地区連絡協議会（青森県）、盛岡盛南地域安全協会（岩手県）による活動事例発表がありました。

当日の発表資料については、以下リンク先からご覧いただけます。

・東地区連絡協議会（青森県黒石市）の発表資料
<http://teamaopato.wixsite.com/aopato/untitled-c1bni>

・盛岡盛南地域安全協会（岩手県盛岡市）の発表資料
<http://teamaopato.wixsite.com/aopato/untitled-c1bni>



「犯罪機会論とホットスポット・パトロール」

最後に、本日学んだことをもとにして、実際の場面を想定したクイズ形式によるワークショップが行われました。

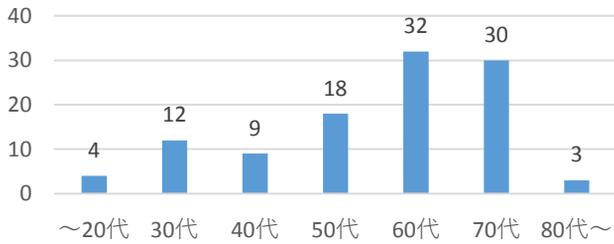


参考資料:参加者アンケート結果

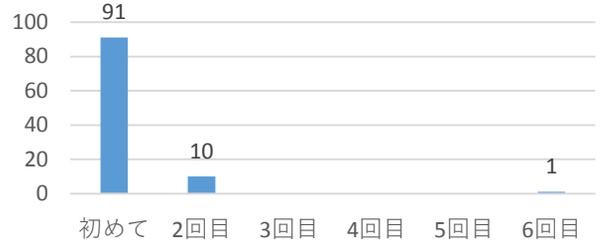
アンケート結果概要

実施年月日 : 2017年9月16日
対象人数 : 139名(フォーラム参加者)
回収人数 : 109名
回収率 : 78.4%

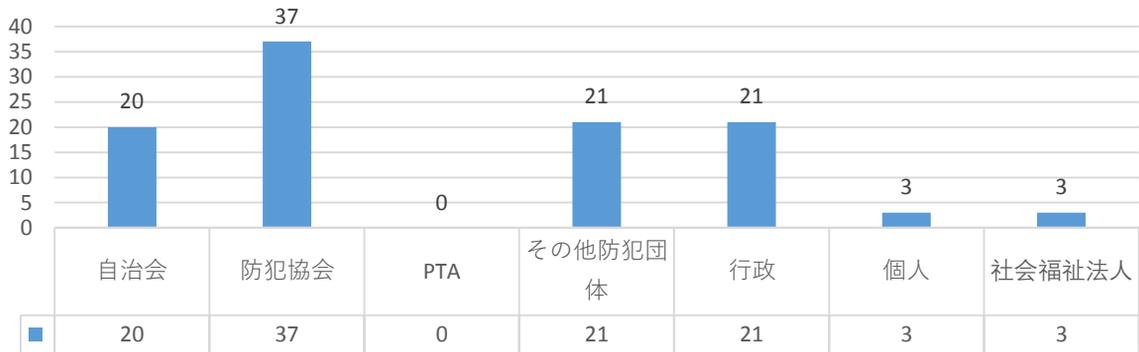
年齢



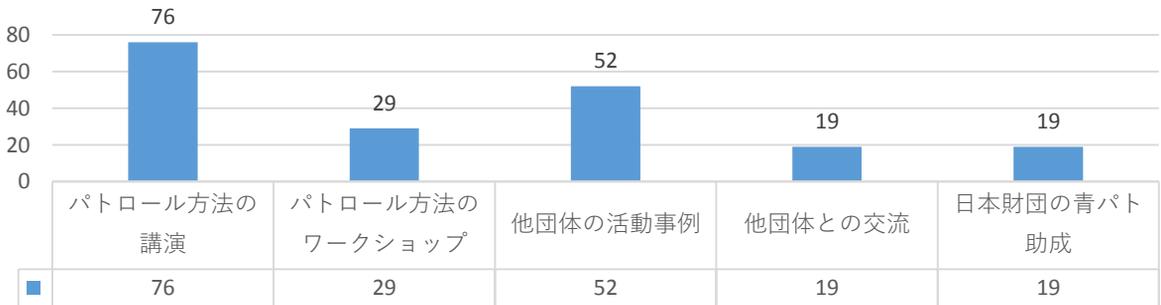
Q1 今回は何回目の参加ですか？



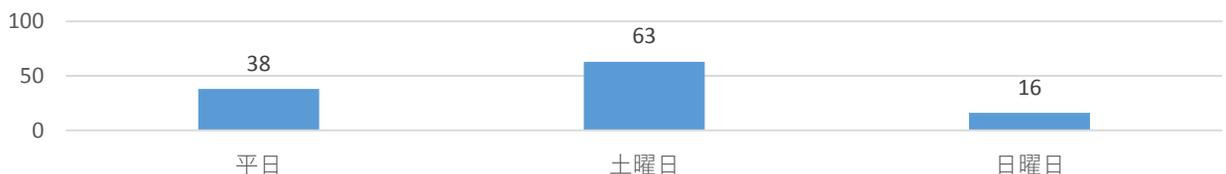
所属



Q2 何に興味を持って参加されましたか？

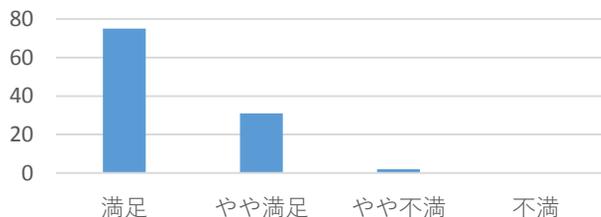


Q3 今後青パトフォーラムに参加するとしたら何曜日の開催を希望しますか？



参考資料:参加者アンケート結果

Q4 今回の講演内容はいかがでしたか？



満足理由

- ・新たな視点を学ぶことができた
- ・小宮先生の話は分かりやすく、なるほどと思う事が多い

Q5 フィールドワークの報告はいかがでしたか？



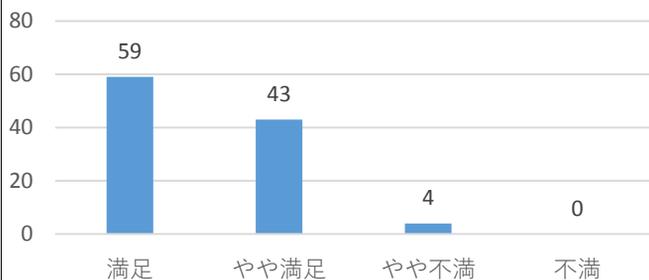
満足理由

- ・女性2人共よくお話くださり新鮮さを感じた。

不満理由

- ・会員数、活動の具体的な内容不足

Q6 事例発表はいかがでしたか？



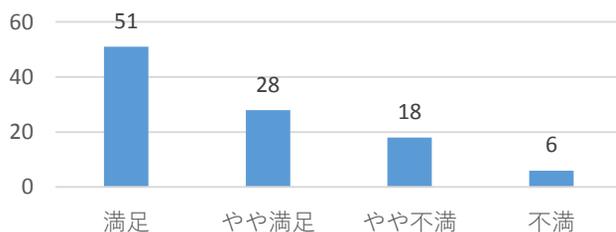
満足理由

- ・防犯協会と一緒にするというのはすばらしい
- ・具体的な活動内容、課題、資金の集め方等の話が聞けてよかった
- ・他団体の活動がどのようなものか分かり刺激になった。参考にできる部分は参考にしたい

不満理由

- ・活動の具体性、経費が不明確

Q7 ワークショップはいかがでしたか？



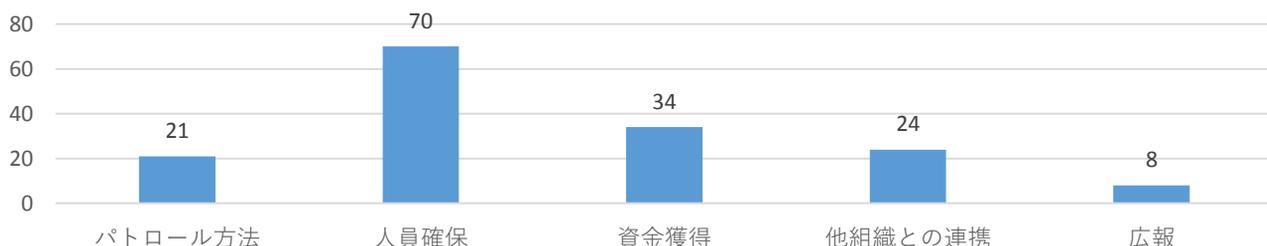
満足理由

- ・小宮先生ありがとうございます。すごく良かったです。何度も講演を聴きたいです。
- ・たいへんよく理解できた

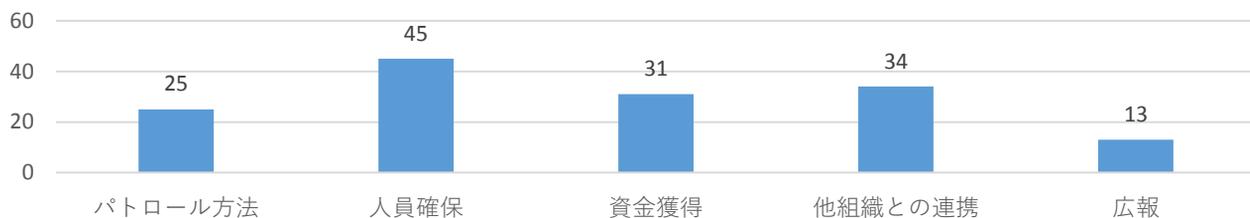
不満理由

- ・事前説明がほしい。自己紹介の件、時間配分が悪い
- ・刺激にはなると思うが時間的余裕がなければ必要ないのではないか。ただ、自己紹介だけではワークショップとは言わないのではないかと思う。

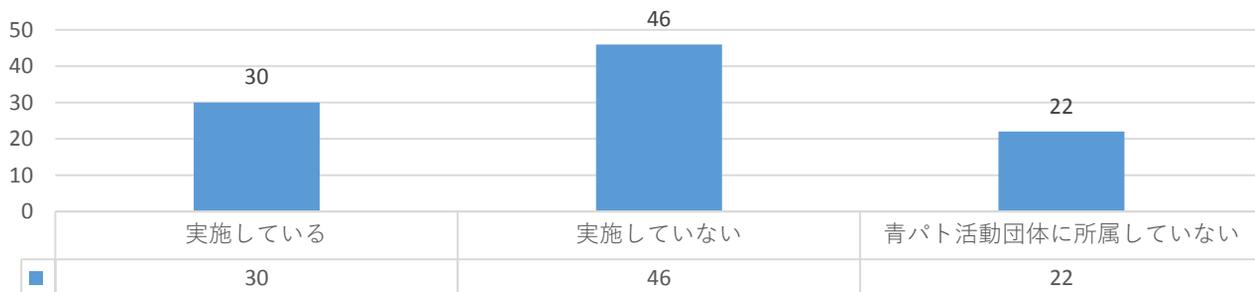
Q8 現在の青パト活動の運営課題は何と考えますか？



Q9 今後青パトフォーラムで取り上げてほしいテーマは何ですか？



Q10 現在ホットスポットパトロールを実施していますか？



Q11 Q10で「実施している」を選択された方にお聞きします。実施のきっかけは何ですか？



Q12 Q10で「実施していない」を選択された方にお聞きします。本日の青パトフォーラム参加により、今後ホットスポットパトロールを導入したいと思われましたか？



助成内容（2018年度通常募集）

1. 対象となる団体

申請時に、『青色回転灯を自動車に装着して適正に自主防犯パトロールを実施することができる団体であることの証明書』を所持している団体で、団体の活動に継続性が見込まれること

2. 助成金額

補助率は、事業費総額の80%以内（助成金の上限額は160万円です。）

対象となる経費は、以下のとおりです。（青色回転灯のみの助成は行っておりません。）

新車（原則として白の軽自動車）の購入代金

固定式青色回転灯（スピーカー含む）の装備費

日本財団指定の塗装経費（約20万円：メーカー、車種により変動。日本財団ロゴマーク及び申請団体名を含む。）

自動ブレーキシステムの装備費（安全運行のため、必ず見積もりに含めてください。）

日本財団指定塗装については以下の「チーム青パト」ウェブサイトをご確認ください。

<http://teamaopato.wixsite.com/aopato/untitled-c1v4j>

対象外となる主な経費は、以下のとおりです。

任意保険、ガソリン代、青パト出発式開催費

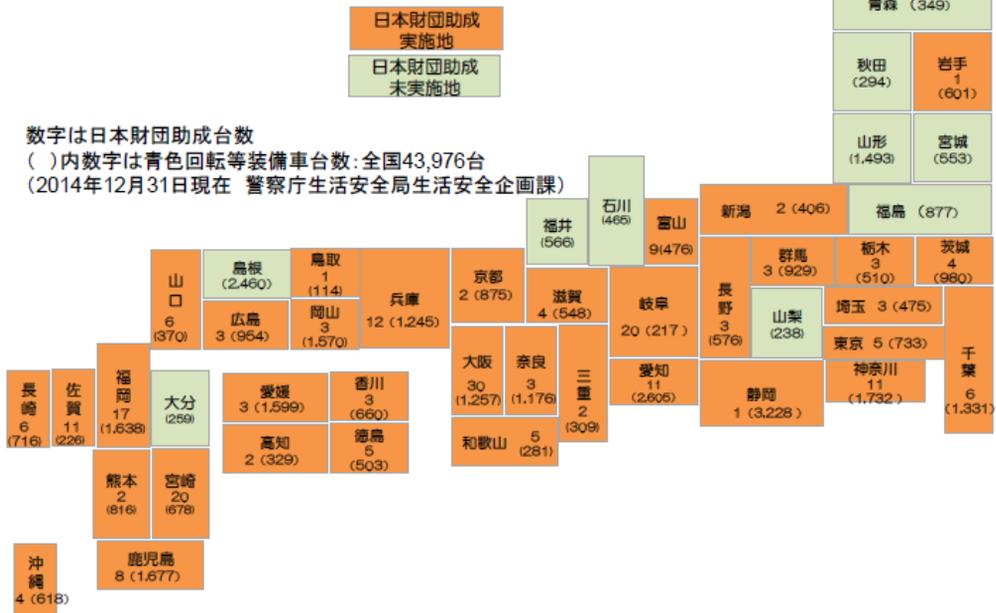
希望ナンバー、ETC車載器など、防犯活動と関係がない経費

2017年4月現在の助成実績

全国で、237台の青パトを配備

北海道	3
東北	1
関東	35
中部	46
近畿	58
四国・中国	26
九州	68
合計	237

青色回転灯装備車配備台数 日本財団助成：237台（2017年4月1日現在） 37都道府県で実施



青パト専用サイト：日本財団「チーム青パト」

青パト専用のサイトです！ぜひ、ご覧ください！

<http://teamaopato.wix.com/aopato>

注) Internet Explorer 8 以前のバージョンではご覧いただけません。
Internet Explorer 9 以上でご覧ください。



2018年度青パト車両助成（通常募集）のご案内は

[こちら](#)

(申請受付は2017年10月2日(月)からです。)

全国青パトフォーラム2017 in 東北

終了いたしました。

多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。

日時：2017年9月16日(土曜日)

場所：仙台市中小企業活性化センター(AER)

詳細は[こちら](#)をご覧ください。

おわりに

今回の青パトフォーラムは、昨年に引き続き実際に戸外に出てホットスポットを見極めるというフィールドワークを実施しました。朝早くからのプログラムではありましたが、沢山の参加ご希望をいただき、活動の性質上、少数精鋭での実施となりました。午後からのフォーラムでは参加者で取りまとめた成果を共有していただきました。

焦点を当てたホットスポット・パトロールについては、「新鮮な視点だった」、「これまでのやり方を見直さなければいけない」などの声が多く寄せられました。またこの手法を各地元に知らせていきたいという希望もあがってきております。日本財団は、2018年度も「全国青パトフォーラム」の開催を予定しております。地域の関係団体、行政、警察等と連携し、引き続き効果的な防犯活動の手法を全国に広め、安心・安全なまちづくりを支援していきます。